

芽室町議会発

未来フォーラムⅣ

- 世代を超えた想いをまちづくりに -

日時 2019年 2/2 (土) 14:00 -17:00
場所 芽室町中央公民館2F講堂

ストーリーから
対話で学ぶ

「ストーリーテラー」の事例をテーマに
「言葉にして」「聞いて」「対話して」
私たちが暮らす地域社会がこれからも
住みよい地域として続いていくために
必要な知識や智恵をたくさんの人と共有してみましよう

ホスト/牧原ゆりえ 氏

(社)サステナビリティ・ダイアログ 代表理事

1997年国際基督教大学を卒業後、大手監査法人に公認会計士として勤務。2009年家族でスウェーデンへ。持続可能な社会のための戦略的なリーダーシップ、持続可能なプロダクト・サービス・システムズ・イノベーションを学ぶ修士課程で学ぶ。Art of Hosting Japanの世話人。スウェーデンのサステナビリティ戦略フレームワークを伝える。



ストーリーテラー/山本愛優美 氏

Thinkyo-Hokkaido 共同代表・超学校祭プロデューサー

帯広柏葉高等学校3年。中学生のころ、漫画「銀の匙」を通じて起業を志す。高校進学後、個人事業主としてNexsterを創業。帯広で活躍する10代への支援を中心に、イベントや事業の立上げに関するコンサルティング業務に従事。2018年夏、学校の垣根を超えて帯広の高校生が街で学校祭を開くイベント「超学校祭」を主宰。

-フォーラム概要-

- 芽室町議会の活動報告[10min]
- ストーリーから対話で学ぶ[140min]
趣旨説明「なぜ今ストーリーから学ぶのか」
手法「コレクティブ・ストーリー・ハーベスティング」とは
ストーリーを聞く問いを選ぶ
ストーリーを聞きチームで対話しよう
- 議会からのメッセージ[10min]

昨年度開催の「未来フォーラムⅢ」から



主催 芽室町議会 後援 芽室町議会議員会

お問い合わせ先 : 芽室町議会事務局 TEL: 62-9731 FAX: 62-9813

セッション「ストーリーから対話で学ぶ」

ホスト：牧原ゆりえ 氏（社）サステナビリティ・ダイアログ 代表理事）

グラフィックハーベスター：小柳明子 氏（NPO 法人市民プロデュース理事）

- (1)趣旨説明「なぜ今ストーリーからみんなで学ぶのか」
- (2)手法（コレクティブ・ストーリー・ハーベスティング(CSH)）って？
- (3)ストーリーを聞く「問い」とは？
- (4)「問い」を選び、チームに分かれ、相談しよう
- (5)ストーリーを聞こう！
 - 学校の垣根を超えた！『超学校祭』)
山本愛優美さん（Thinkyo-Hokkaido 共同代表・超学校祭プロデューサー）
 - 「なまら食堂」代表 鈴木友里さん（札幌市）
- (6)発表内容を考えるために、チームで対話しよう
 - ・選んだ問いに対して、ストーリーを聞いて、何を感じたか？何を思ったか？
 - ・チーム内で話すことで、2度ストーリーを聴くことに繋がる。
 - ・ほかの人の話を聴くことで、思いの多様性が広がる。
 - ・最後の数分で、チームとして、他のチームに伝えたいポイントをまとめる。
- (7)チームごとに発表しよう
 - ・口頭で発表
- (8)ストーリーテラーから一言
- (9)この話し合いの立会人から一言
- (10)全体を振り返ってみよう
- (11)「生まれ育ったまちを住み続けたいまちにするために、今みんなで学んだことはな
んだろうか」
 - 議会からのメッセージ
 - アンケート